

令和2年度白石市まちづくり交付金事業の採択結果(一次募集)について

令和2年3月12日(木曜日)に白石市まちづくり交付金事業審査会を開催し、審査を行いました。審査会からの答申を受け、令和2年度の事業が下記のとおり決定しました。

地区	団体名	事業名	事業内容(交付金の使途)
白石	沢端川の環境を守り鯉を育てる会	沢端川周辺環境美化整備事業	沢端川周辺の環境美化と観光振興のため、赤松・チャボヒバ・アジサイ等の剪定、雑草刈払い、モミジ・サクラの樹勢回復を行う。
	鷹巣自治会	鷹巣第5公園緑化植栽事業	環境美化および地域コミュニケーションの活性化を図り、地域活性化につなげるために、鷹巣第5公園への花の植栽を行う。
	上郡山自治会館運営委員会	国道113号線ふれあい花壇等の美化活動	美化活動により多様な世代間の信頼関係の構築と、安心安全な地域を目指すため、国道113号鹿野地区花壇への植栽、上郡山自治会館周辺の桜の枝の剪定を行う。
	白石川堤防の桜を守る会	白石川堤防環境美化整備事業	環境美化整備および、観光振興スポットになることを目指し、白石川堤防南側法面の雑草・雑木の刈払い、桜の剪定を行う。
	本郷第一令和会	本郷第一令和会「令和の花壇」整備事業	さらなる信頼関係の構築と安心安全な地域を目指すために、中央公民館近くの花壇整備を行う。
越河	越河カンナ花友の会	環境美化・健康増進ウォーキング運動事業	環境美化の推進、地区民等の健康増進、会員相互の親睦を図るために、地区内にカンナの花を植栽し、開花の時期に各地点をゴミ拾いしながら巡り歩く。
	越河歴史探訪会	越河歴史探訪会;こしも“越河”をたずねてみませんか!	歴史的遺構への理解を深めるとともに、地区民同士の交流を深めるため、越河地区内に点在する歴史的遺構などを、地区民が主体的に探訪する。
斎川	斎川夏まつり実行委員会	斎川夏まつり盆おどり大会	地域の活性化および地域住民の輪《結いの心》を醸成し、子どもたちなどの故郷の思い出づくりに資するため、夏まつり開催にかかるやぐら組立工事、仮設電気配線工事に交付金を活用。
	斎川まちづくり協議会	きらり斎川笑アップ塾	これまで把握した住民ニーズや課題を深掘りし、生活弱者の支援が必要であることが見えてきたため、生活支援体制の在り方を地区民とともに考え協力しながら、住民主体の持続可能な地域づくりを推進し、住民の健康増進並びに会員・地区民の同士の親睦を図るため、地区内に運動ができる場所を整備し、花見、グラウンドゴルフ大会、芋煮会などを開催する。
大平	大平老人クラブ睦会	大平地区民交流促進事業	若い人の意向を取り入れ若者のリーダー育成と白川地区の活性化を図るため、夏まつり開催にかかる消耗品、クリーニング、舞台檜組立、音響整備、出演者謝金に交付金を活用。
白川	白川振興会議	白川夏まつり	若い人の意向を取り入れ若者のリーダー育成と白川地区の活性化を図るため、夏まつり開催にかかる消耗品、クリーニング、舞台檜組立、音響整備、出演者謝金に交付金を活用。
福岡	上原自治会	花と緑の地域づくり事業『花で癒そう原を!』	花と緑の地域づくりを推進し、さらなる環境美化と、地域のコミュニケーションの向上を図るために、県道254号沿いの花壇等に花を植栽を行う。
	山根自治会	地区内を花と緑で笑顔溢れる地域づくり	住民同士の関係性を深めると共に、環境美化と事故防止に繋げるために、様々な団体や多様な世代と地区内の花壇に花を植栽する。
	芹沢自治会	小さい集落「せんのう沢」は、みんなで「笑顔」	互いに声を掛け合える関係を築き地区民同士の交流を深めると共に、地域活性化を図るために、幸せの鐘を建設設置する。
	川原子あじさいを愛する会	「あじさい」の植栽及び管理と苗づくり交流事業	会および地域の活性化を図るため、季節ごとの草花の植栽やあじさい祭り(挿し木講習会)を行う。
深谷	深谷夏まつり実行委員会	深谷地区夏まつり大会	年代を超えた地域住民の交流と地域活性化を図るために、夏まつりの開催に必要な舞台組立工事費、仮設電気工事費、出演者謝金等に交付金を活用。
	白石市深谷公民館運営委員会	深谷地区の神社等の名前・由緒看板設置と記念植樹	神社の由来など地域資源を次世代の子どもたちに伝え、地域活性化を図るために、由来を記した看板の製作・設置、記念植樹を行う。
小原	小原地区活性化推進協議会	検断屋敷まつり(春・夏・秋・冬)	地域活性化のため、観光資源の材木岩や地場農産品などを活用した検断屋敷まつり(春夏秋冬4回)の開催に必要な出演者謝金、駐車場整理委託料、チラシ作成代等に交付金を活用。
	柿渋作りを楽しむ会	柿渋を使った地域づくり	少子高齢化・人口減少による、地域の活力低下を解消するため、「柿渋を使った地域づくり」により、世代間の交流を図りながら、地域活性化を目指すため、研修会(柿渋の活用・作品作り)を行う。
	小原地区振興会	小原未来塾	これまでの取り組みで中学生以上の全住民アンケート実施したことから住民ニーズや課題が把握できているので、これらを活かした、住民主体の持続可能な地域づくりを推進する。